

住職考 (ひとりごと)

おとうさん、(人間は)なんで生きているの？
生きる意味ってなに？
死んだらどーなるの？

ある晩、子どもが寝る間に尋ねてきました。
「おお〜っと！来たなあ〜！これはいいかげんに
答えてもすぐ見抜かれるぞ〜！」と、一瞬心に緊張
が走りました。
なぜならこの子は、まだ幼稚園に通っていた時、
「嘘をついたら閻魔さまに舌を抜かれるぞ！」と
話をする…
「じゃあ閻魔さまが嘘をついたらどうなるの？」
と問い返してきた子だからです。
本当にわかってもないことを、わかったふりし
て応えても見抜かれるだろう…
かと言って「まったくわからん！」では父として
僧侶として説得力がなさすぎる…
真剣な問いだからこそ、正直に自分の思っている
ことを伝えましたが…
この問いに、あなたならどう答えますか？

-以下、息子(カイト)との会話

子) おとうさん、(人間は)なんで生きているの？
生きる意味ってなに？死んだらどーなるの？

私) そおだな〜。何で生きているんだろうなあ？
死んだらどうなるかは、お父さんもわからんなあ、
まだ死んだことないからなあ…。
なんで生きているか？っていう、生きる意味につ
いては、人それぞれいろんな答えがあると思うけど
ね。お父さんの考えというか、思っていることはあ
るよ。ところでカイトは生まれてきた時のこと覚
えてるか？

子) 覚えてない

私) じゃあさ、いちばん昔のことで覚えてるのは
いつ頃？何歳くらいのとき？

子) う〜ん…、年中(幼稚園)かなあ…

私) そうか、ってことは4歳くらいか。
カイトはその時、自分では覚えていなくても、生
まれてからもう4年も生きてたんだよな。お父さん
たちみんなはカイトが生まれてきた時のことも、赤
ちゃんだったときのことも覚えてるよ。

じゃあさ、カイトは日本に、この時代に、この家に
生まれようと思って、自分で選んで生まれてきた？

子) うんうん(首を横に振りながら)

私) そうだよな。
気がついたら、もう自分がここに居たんだよな。
自分で選んだわけでもなく、生まれてたんだよな。
それと同じでさ、生まれる時と同じように、死ぬ時
もやっぱり選べないんじゃないかなあと思うんだ。
いつどうやって死ぬかなんてさ。
でもさ、死ぬ時にはきっと自分の生きてきた人生を
思い出すんじゃないかなあ。
ああ、もうこれで終わっちゃうんだ。
あんなこともやったなあ。こんなこともあったなあ。
あの時は嬉しかったなあ。楽しかったなあ。
あの時は本当に嫌だったなあ。辛かったなあ。
こんな人がいたなあ。あんな人にも出会えたなあ。
いろいろあったなあ…ってさ。
そうやって思い出せること、自分の経験したことつ
てさ、誰にも奪われない(取られない)し、どこへ
でも持っていけるものじゃない？
それがカイトの、カイトだけの宝ものじゃない？
生きてるとさ、本当にいろんなことがあって、いろ
んなことが起こってくるんだけど、それが全部宝も
のだと思うんだよね。自分の思い通りになったこと
もなかったことも、全部ね。
カイトもこれから大人になって、おじいさんになっ
て、きっといろんなことがあると思うんだ…。
お父さんも、今までいろんなことがあった。カイト
が生まれてカイトに出会えたのもお父さんの宝。
そしてお父さんにも、これからはきっといろんなこ
とがあると思うんだけど、それが全部宝ものだと思
うんだ。
だから生きる意味っていうのは、そういう宝をたく
さん集めることじゃないかなあと思うんだよね…。
それでもし、死んだ後におおじいじ・おおばあば
とか、みんなに会えるなら、自分が集めた宝のお話
をいっぱいできるんじゃないかなあ〜って、そう思
ってお父さんは生きてるよ。

子) ふ〜ん。そっかあ…。寝るね。おやすみ。

…と言って、子どもは寝ましたw

子どもに何が伝わったのかはわかりませんが、いつ
かまた話をしてみたいと思います。子どもがどう思
っているのかも、聞いてみたいと思います。
なにが正解なのかはわかりませんが、どうぞご一緒
に考えてみてください。

合掌
住職 釋 健雄